

歯の神経をとった後のご注意

● 本日の治療について

今日は歯の神経を取りました。
1～2日はサクサクと痛むことがありますので、
痛みがある場合は痛み止めを飲み、注意事項をよく
読んで安静にしておいてください。

● なぜ歯の神経を取るの？

- ① 虫歯が神経にまで達すると、神経が虫歯菌に感染し、化膿して痛みの原因となるので、虫歯菌と一緒に神経を取る必要があるため。
- ② 歯の位置が悪い場合など、神経を取らなければその後の治療が出来ないため。

● 痛みに関する注意

- ① 歯の神経は麻酔をして取るため、**麻酔の後が傷になって痛むことがあります**。そのようなときは消毒に来ていただくか、ご家庭でもうがいなどをして、清潔にしてください。
- ② 神経の炎症がひどい場合や歯周病の場合は、夜かなり腫れることがあります。そのようなときは歯にしている**ゴムのふたを、つまようじなどで取っていただく**と楽になることが多いです。
- ③ 痛みが出たときは痛み止め薬を飲み、次回来院時お知らせください。

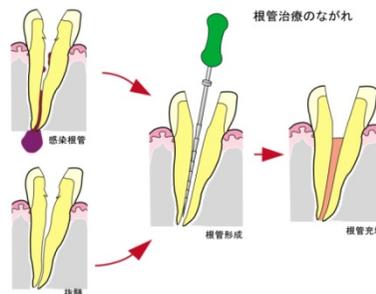
● 神経を取ることのメリットは？

化膿している神経を取る場合、今までの痛みからはほとんどの場合解放されます。また無理に取らな

いで残しておく歯の中で神経が腐ってきて今以上に痛みがひどくなりますが、神経を早く取ることによってそれも防ぐことが出来ます。

● この後の治療は？

神経を取った
といってもそれは歯の中だけの
ことです。歯の根
の先では一時的
に炎症が起こり、
「噛んだら少し
響く感じがする」
といった症状が
現れます。この症状を抑えるためこれから何度か消毒する必要があります。



完全に治ったら最終的な薬を詰め、土台を立てた後、歯をかぶせたら治療は終了です。

● どんな歯をかぶせるの？

最終的に、**健康保険の場合は銀歯**になります。銀歯以外の歯をお望みの方は、保険外の自費治療にはなりますが、白い歯をかぶせることも可能です。自費治療は1本5万円～となっておりますので、詳しくはスタッフにお尋ねください。



保険の銀歯



自費のセラミック

● 神経を取ると歯は弱くなるの？

神経を取ると歯が弱くなるとよく思われますが、心配はいりません。日常生活では何の支障も無い程度だと考えられます。

● ラバーダム防湿

歯内療法成功には無菌的な処置が大事です。しかしお口の中には無数の細菌がいるため、治療中の無菌対策が不十分であれば、十分な治療効果が得られません。そのため当院では歯の周りにラバーダムと呼ばれるゴムのシートを貼って防御しています。



● 治療に関する注意

歯の神経をとる治療は、万能ではありません。可能性は低いですが、本来であれば抜歯しなくてはならないほど状態が悪い場合などは、完全には治らないこともあります。

しかし抜歯は最終手段と考えて、**当院では拡大鏡やマイクロスコープを用いた精密診療により、できるだけ歯を保存するように努めています**。そのため治療回数が少し長くなることもございますので、ご了承ください。



お大事になさってください。